

Advancing Personalized Medicine with Cellular Technologies.

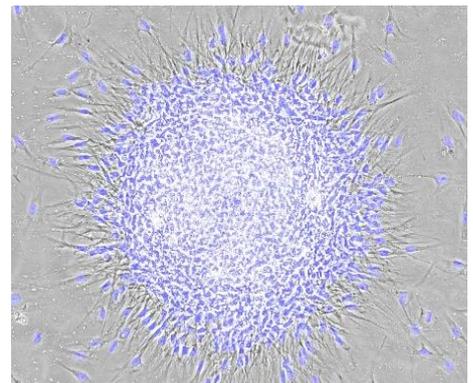
オプティセル株式会社は細胞医療技術の開発を目指すバイオ企業です。
細胞医療と細胞培養診断という先進技術の実用化を目指し、
個人に最適な治療法を選択できるパーソナル医療の実現に貢献します。

Our Business

細胞医療の開発

当社は、次世代医薬品として期待されている細胞医療の研究開発を目指しています。基盤となる技術は、当社が独自に開発した体細胞から多分化能を持つ幹細胞を作製する新手法（特許出願中）です。この技術で患者さん自身の細胞から各種臓器の前駆細胞を作製し、その細胞そのものを医薬品として投与し、ケガや疾患により傷ついた臓器機能を修復する治療での実用化を目指します。

事業化に向けて、大学・医療機関との共同研究で医学的 POC の確立を進めるとともに、事業会社との協業体制で医療実装を進めたい考えです。



Company Overview

創業	2023年6月
代表者	岡本 将
資本金	5,100 千円
本社	神奈川県横浜市中区桜木町一丁目 101 番 1 号クロスゲート 7F
社名の由来	細胞を表す Cell と、能率的に最適な活用を表す Optimize を合体させた造語に想いを込め、OptiCell と命名しました。

◆本社

神奈川県横浜市中区一丁目 101 番 1 号 クロスゲート 7F 〒231-0062
 連絡先 info@opticell.co.jp
 URL https://opticell.co.jp/

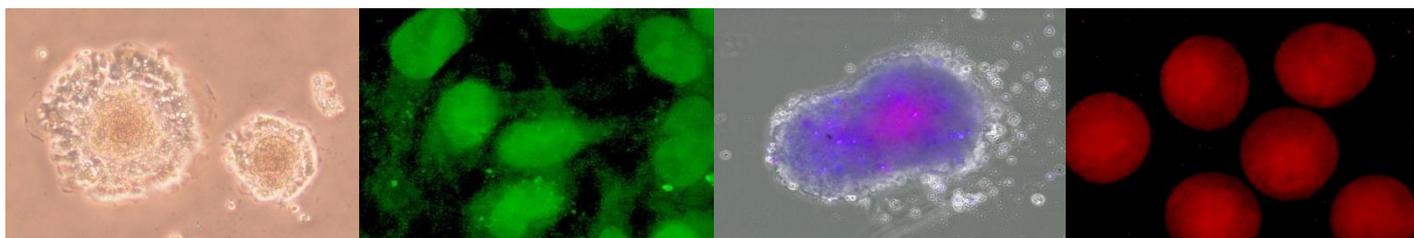
◆研究所

神奈川県鎌倉市常盤 116 番地-1 〒248-0022
 株式会社ジーンケア研究所 内 シェアラボ施設

OptiCell's Research & Development

当社は、体細胞から Oct4/Nanog 陽性で多分化能を持つ幹細胞を作製する新たな手法（特許出願中）を開発しました。

今後の医療実用化に向けて、独自素材である CE ペプチドを細胞ニッチ因子として用い、線維芽細胞を3次元培養し、遺伝子導入を必要としない方法で幹細胞に初期化して、各種臓器の前駆細胞に分化誘導を行う「ダイレクトリプログラミング」法を確立してゆきます。



Message : Our Present and Future

当社は、次世代医療として期待される細胞医療技術の開発を通して、患者さん個人に最適な治療法を選択できるパーソナル医療の進展に寄与する事を理念としています。

2030年近傍の未来、私たちが開発した新技術で患者さんの皮膚細胞から造血幹細胞や神経幹細胞を創り、血液・免疫疾患や神経機能障害などケガや病気で傷んだ身体機能を自分自身の細胞で治療できる、そんなパーソナル 細胞医療の普及を想い描いています。

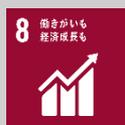
当社が目指す細胞医療には、革新技術・知財はもとよりオミクス解析とデータサイエンスの融合や産学連携 R&D エコシステムの構築が不可欠です。当社はそうしたメンバーが Win-Win な共創関係を築き、売り手、買い手、社会を含む三方良しの成果を生み出す研究開発型スタートアップを目指します。

これからもステークホルダー皆様の変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 岡本 将



細胞医療の技術開発を通して、患者さん個人に最適な治療を選択できるパーソナル細胞医療の普及に取り組みます。



イノベーションを支える多様な人材の育成とともに、従業員が安心して生きがいを持って取り組める環境を提供していきます。



アカデミア、事業会社との産学共同研究開発を通じて、ヘルスケア分野でのイノベーション推進を行っていきます。



医療課題の解決にあたっては、事業会社と医療研究機関との事業連携 エコシステムを構築し、三方良しの成果を目指します。